

令和6年度 事業報告書

事業名	環境保全普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成6年度
担当部署	広島県環境県民局環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

学校、家庭、事業者等による環境保全活動を促進するため、「環境の日」に関連したイベント開催等の普及啓発事業を行い、実践行動の拡大を図る。

【目標】「環境の日」ひろしま大会累計来場者数 44,000人以上（年間5,500人×8年間）
（平成29年度～令和9年度実施の累計来場者数 ただしコロナで中止した令和2年度、オンライン開催の令和3～4年度を除く）

【実績】H29 3,800人 H30 3,600人 R01 3,700人 R02 中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
R03 7,061アクセス（特設WEBサイトによりオンラインで開催）
R04 9,590アクセス（特設WEBサイトによりオンラインで開催）
R05 7,700人 R06 8,100人

2. 概要

- 「環境の日」ひろしま大会
「環境の日」に関連したイベントを開催し、団体・事業者等の環境保全に関する取組を紹介することにより、県民の環境保全意識の醸成を図る。
- 環境月間行事
すぐれた環境保全活動やポスターを顕彰し、実践行動に取り組む個人・事業者等の意識の高揚を図る。
- 「ひろしま環境の日」行動宣言
省エネ生活、エコドライブ等の環境にやさしいライフスタイルや事業活動の実践を呼びかけ、個人、事業者等の取組参加を活性化し、実践行動の拡大を図る。
- ひろしま地球環境フォーラム
ひろしま地球環境フォーラム（県民、事業者、団体、行政等が連携して環境への取組を総合的に推進する組織）に参画し、構成員とともに環境啓発活動、保全活動等を行う。

3. 根拠法令等

なし。

4. 事業内容等

- 「環境の日」ひろしま大会
団体・事業者の環境保全に関する取組紹介等を行うイベントを開催
- 環境月間行事等
ひろしま環境賞、環境ポスター・標語の表彰
- 「ひろしま環境の日」行動宣言
省エネ生活等の実践を呼びかけ、実践する個人や団体を募集・登録
- ひろしま地球環境フォーラム
環境啓発活動（イベント（「環境の日」ひろしま大会、ひろしま温暖化ストップ！フェア、脱・温暖化フェア））、保全活動（環境美化活動）等を実施。

令和 6 年度 事業報告書

事業名	環境保全普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成 6 年度
担当部署	広島県環境県民局環境政策課	終了年度	令和 9 年度

5. 事業費等

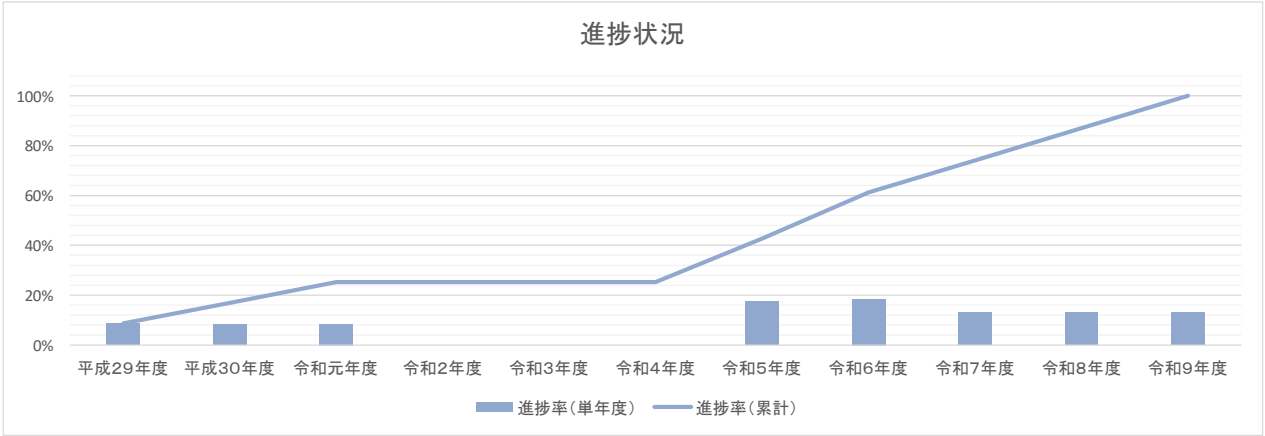
	合計	一般財源等	基金充当額	備 考
報償費	20,700		20,700	表彰選考委員
旅費	19,440		19,440	表彰受賞者
需用費	0		0	表彰状、登録証ほか
役務費	34,650		34,650	通信費、筆耕ほか
負担金	550,000		550,000	ひろしま大会、地球環境フォーラム
	0			
合計	624,790	0	624,790	(単位：円)

年度 (単位:千円)	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)	649	641	634	271	563	548	610	625	764	764	764
事業費 (累計)	649	1,290	1,924	2,195	2,758	3,306	3,916	4,541	5,305	6,069	6,833

6. 進捗状況等

年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)	9%	8%	8%	0%	0%	0%	18%	18%	13%	13%	13%
進捗率 (累計)	9%	17%	25%	25%	25%	25%	43%	61%	74%	87%	100%
「環境の日」ひろしま大会来場者数(累計人数)	3,800	7,400	11,100	11,100	11,100	11,100	18,800	26,900	32,600	38,300	44,000
「環境の日」ひろしま大会年度別来場者数(年度別人数)	3,800	3,600	3,700	中止	オンラインのみのため加算しない	オンラインのみのため加算しない	7,700	8,100	5,700	5,700	5,700

(見込) (見込) (見込)



令和6年度 事業報告書

事業名	ひろしまクールシェア・ウォームシェア事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成26年度
担当部署	広島県環境県民局環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

夏冬の省エネ対策として、家庭や公共施設や商業施設等において、涼しさ・あたたかさを分け合うなど、家庭での節電を促進する「ひろしまクール&ウォームシェア」の取組を実施する。

【目標】 参加協力施設数 2,000施設以上（令和9年度）

2. 概要

- ・夏冬の省エネ対策として、家庭や公共施設や商業施設において、涼しさ・あたたかさを分け合うなど、家庭での節電を促進する取組を実施するため、商業施設や、公共施設に呼びかけ、参加協力施設を募集する。
- ・ひろしまクール&ウォームシェア参加協力施設にポスター・チラシなどを提供する。また、県民の参加を促すために、参加協力施設には実施期間中にタイムセール・割引・クーポンなどの独自のサービス提供について協力を依頼し、県ではアンケートを実施し、回答者に対して、抽選で記念品を贈呈する。

3. 根拠法令等

なし。

4. 事業内容等

- （1）参加協力施設の募集
 - ・県内公共施設・商業施設に対して参加依頼を目的としたDM発送
 - ・参加協力施設へのタイムセールや割引、クーポンなどの参加を促進する独自サービス実施の依頼
- （2）啓発物品の作成及び発送
 - ・啓発チラシ・ポスターの作成及び発送
- （3）抽選の実施
 - ・対象施設を利用し、アンケートに回答した参加者の中から抽選でプレゼントを進呈

令和6年度 事業報告書

事業名	ひろしまクールシェア・ウォームシェア事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成26年度
担当部署	広島県環境県民局環境政策課	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

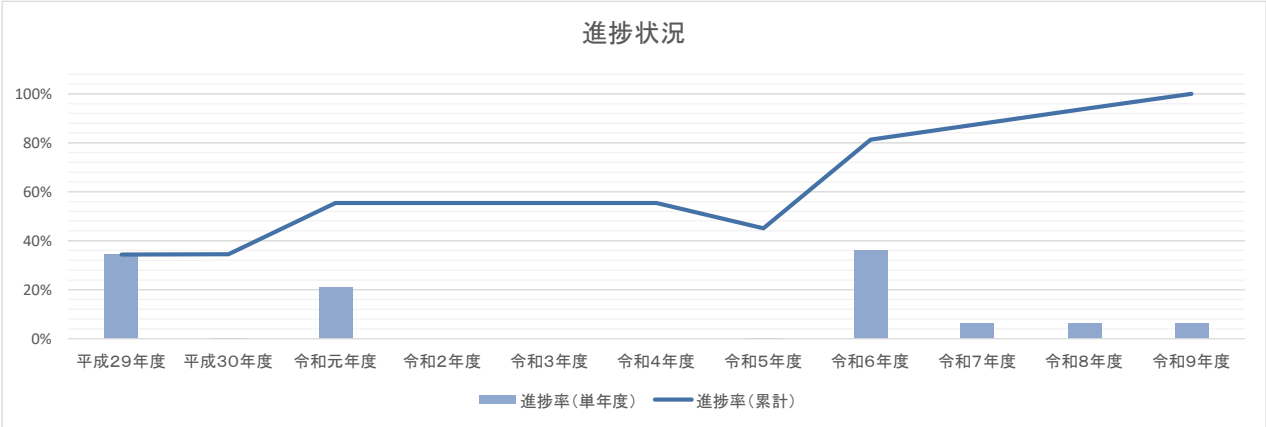
	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	7,832,800	924,800	6,908,000	ひろしまクール&ウォームビズ運営業務
合計	7,832,800	924,800	6,908,000	(単位：円)

年度(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)	4,211	4,799	4,837	0	3,184	4,000	5,340	6,908	8,489	8,489	8,489
事業費(累計)	4,211	9,010	13,847	13,847	17,031	21,031	26,371	33,279	41,768	50,257	58,746

6. 進捗状況等

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)	34%	0%	21%	0%	0%	0%	-10%	36%	6%	6%	6%
進捗率(累計)	34%	34%	55%	55%	55%	55%	45%	81%	88%	94%	100%
年度別参加協力施設数(施設)	687	689	1,106	中止	中止	中止	902	1,627	1,751	1,876	2,000

(見込) (見込) (見込)



令和6年度 事業報告書

事業名	家庭における省エネ行動促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成29年度
担当部署	広島県環境県民局環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

全ての県民が地球温暖化問題への理解を深め、日常生活において省エネ行動を自主的かつ積極的に進めるために家庭における省エネ行動促進事業を実施する。

【目標】

うちエコ診断制度の運用

うちエコ診断件数：5,774世帯以上（平成29年度～令和9年度の累計）

2. 概要

家庭部門のCO2排出量の削減に向けて、県民一人ひとりの自発的な行動を促す普及啓発等に注力するため、家庭における省エネ行動促進事業を実施する。

3. 根拠法令等

なし。

4. 事業内容等

家庭における省エネ行動促進事業に係る広報業務（658,900円）

- ・「うちエコ診断WEBサービス」の周知、広報業務

家庭における省エネ行動促進事業（1,493,800円）

- ・地域協議会等での「うちエコ診断」を活用した普及啓発
- ・「うちエコ診断WEBサービス」の集計業務
- ・公衛協等の地域活動団体を対象とした普及啓発

令和 6 年度 事業報告書

事業名	家庭における省エネ行動促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	－	開始年度	平成 2 9 年度
担当部署	広島県環境県民局環境政策課	終了年度	令和 9 年度

5. 事業費等

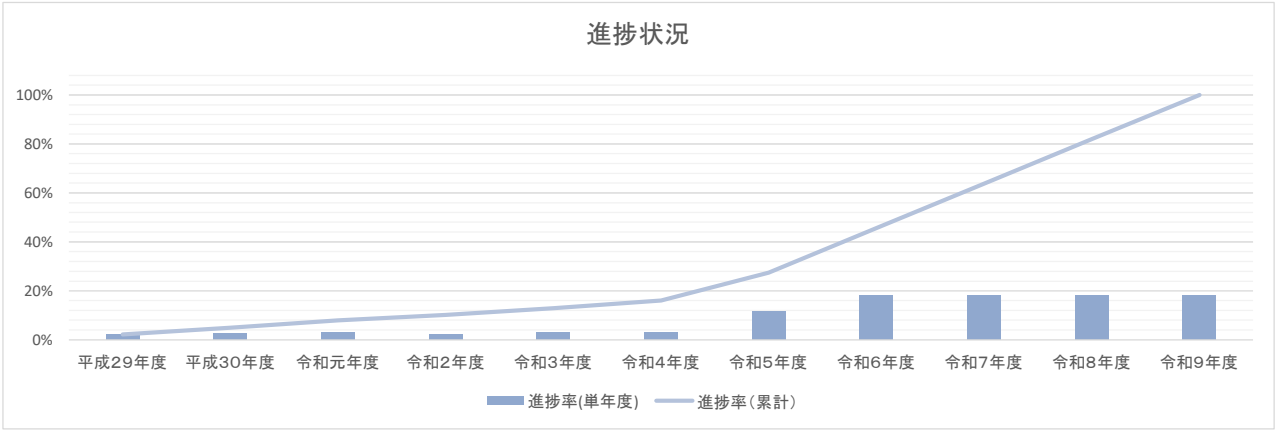
	合計	一般財源等	基金充当額	備 考
委託費	2, 152, 700	96, 608	2, 056, 092	うちエコ診断運用・普及啓発費
合計	2, 152, 700	96, 608	2, 056, 092	(単位：円)

年度 (単位:千円)	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)	7, 981	10, 712	11, 355	6, 027	5, 079	1, 974	2, 203	2, 057	2, 298	2, 298	2, 298
事業費 (累計)	7, 981	18, 693	30, 048	36, 075	41, 154	43, 128	45, 331	47, 388	49, 686	51, 984	54, 282

6. 進捗状況等

年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)	2%	3%	3%	2%	3%	3%	11%	18%	18%	18%	18%
進捗率 (累計)	2%	5%	8%	10%	13%	16%	27%	46%	64%	82%	100%
うちエコ診断件数 (累計件数)	454	1, 016	1, 643	2, 107	2, 687	3, 333	5, 689	9, 442	13, 195	16, 948	20, 701
うちエコ診断件数 (年度別件数)	454	562	627	464	580	646	2, 356	3, 753	3, 753	3, 753	3, 753

(見込) (見込) (見込)



令和6年度 事業報告書

事業名	スマートハウス普及促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	令和5年度
担当部署	広島県環境県民局環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

（目的）

ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けて、民生（家庭）部門において、スマートハウス等、住宅の省エネや再生可能エネルギーの導入に係る普及啓発を実施する。

（目標）

○旧目標（令和5年度）

ZEH住宅の選択を促すZEH建設に向けたビルダー／プランナーの累計紹介件数：250件以上（年間50件×5年間）

（令和5年度～令和9年度の累計紹介件数）

○新目標（令和6年度～令和9年度）

省エネ住宅の普及啓発によるZEH住宅等のCO2削減量：600 t（令和6年度～9年度累計）

2. 概要

民生（家庭部門）の温室効果ガス削減に資するため、広報活動等を委託により実施する。

○ビルダー等への取材・情報整理

○スマートハウス等普及啓発のための広報・イベント出展業務

○スマートハウス等普及促進セミナーの開催

○スマートハウス等普及促進に係る講師派遣

3. 根拠法令等

なし。

4. 事業内容等

○ビルダー等への取材・情報整理

・スマートハウス等の建設に取り組んでいる業者に取材を行い、スマートハウス等のメリットを県民にPRできるように情報整理する。

○スマートハウス等普及啓発のための広報・イベント出展業務

・「環境の日ひろしま大会」をはじめとした広島県内市町の環境イベントや住宅関係イベントを活用し、スマートハウス等の利点をPRする。

○スマートハウス等普及促進セミナーの開催

・地域全体でスマートハウス等への理解を深め、普及につなげるため、県民に加え、工務店等を対象に、セミナーを企画し、実施する。

○スマートハウス等普及促進に係る講師派遣

・スマートハウス等の普及啓発のため、県内で実施されるセミナーやイベントにおいて、講師を派遣する。

令和6年度 事業報告書

事業名	スマートハウス普及促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	令和5年度
担当部署	広島県環境県民局環境政策課	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

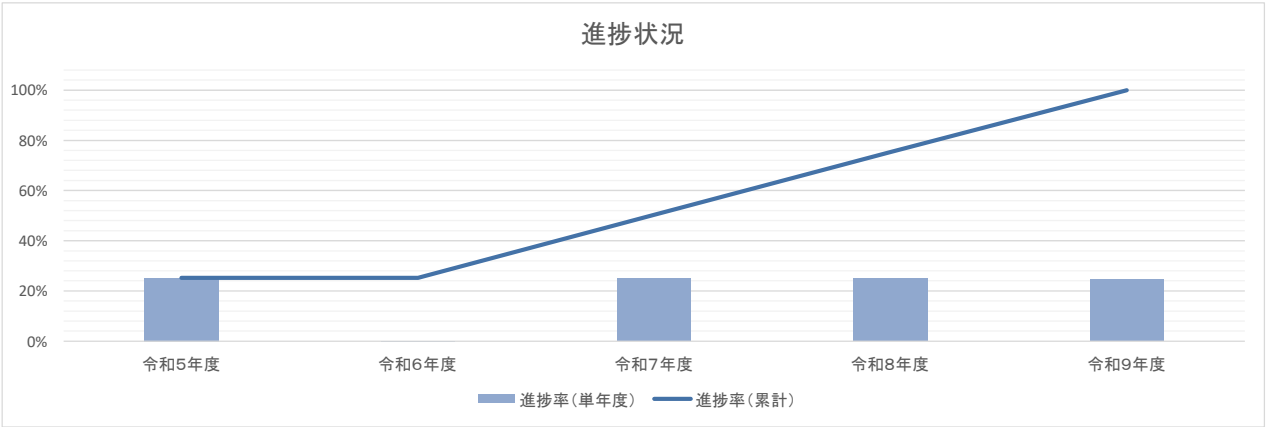
	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	4,859,360	0	4,859,360	ビルダー等への取材・情報整理 セミナー講師派遣、イベント出展
合計	4,859,360	0	4,859,360	(単位：円)

年度 (単位:千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)	4,713	4,860	5,000	5,000	5,000
事業費 (累計)	4,713	9,573	14,573	19,573	24,573

6. 進捗状況等

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)	25%	0%	25%	25%	25%
進捗率 (累計)	25%	25%	50%	75%	100%
ZEH住宅の選択を促すZEH建設に向けたビルダー/プランナーの紹介件数 (累計件数)	63				
ZEH住宅の選択を促すZEH建設に向けたビルダー/プランナーの紹介件数 (年度別件数)	63				
省エネ住宅の普及啓発によるZEH住宅等のCO2削減量 (t)		152	302	452	600
省エネ住宅の普及啓発によるZEH住宅等のCO2削減量 (t)		152	150	150	150

(見込) (見込) (見込)



令和6年度 事業報告書

事業名	瀬戸内海環境保全推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成14年度
担当部署	広島県環境県民局環境保全課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

（目的）

瀬戸内海を良好に維持していくためには、多くの人々に海に対する関心や興味・愛着を持ってもらい、環境の維持や保全の取組に参加しやすい仕組みづくりが必要である。
 このため、関係市町と協力して、「せとうち海援隊」への活動支援を拡充し、県内の海浜における、清掃・美化活動や海岸・干潟生物調査等の環境保全活動を促進する。
 <せとうち海援隊：瀬戸内海の海浜清掃、海岸・干潟の生物調査などを実施する団体で、県の認定を受けた団体。>

（目標）

せとうち海援隊 認定数 44団体（令和9年度）
 <実績> 令和6年度 認定数 40団体

2. 概要

せとうち海援隊の活動支援

- (1) 環境保全活動用資材の提供
- (2) 傷害保険・賠償保険への加入

3. 根拠法令等

なし。

4. 事業内容等

(1) 環境保全活動用資材の提供

海岸生物モニタリング調査に必要な教材や機材、また、海浜清掃活動に必要な用具をせとうち海援隊に提供し、瀬戸内海の環境保全活動への取組を支援した。
 <提供資材> 軍手、タオル、ビブス、のぼり旗、火バサミ等

(2) 傷害保険・賠償保険への加入

当事業で実施する海岸生物調査や海浜清掃活動への参加者に対し、傷害保険・賠償保険を掛けた。
 <実績> 令和6年度末 認定数 40団体（令和5年度末：40団体）

令和 6 年度 事業報告書

事業名	瀬戸内海環境保全推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成 1 4 年度
担当部署	広島県環境県民局環境保全課	終了年度	令和 9 年度

5. 事業費等

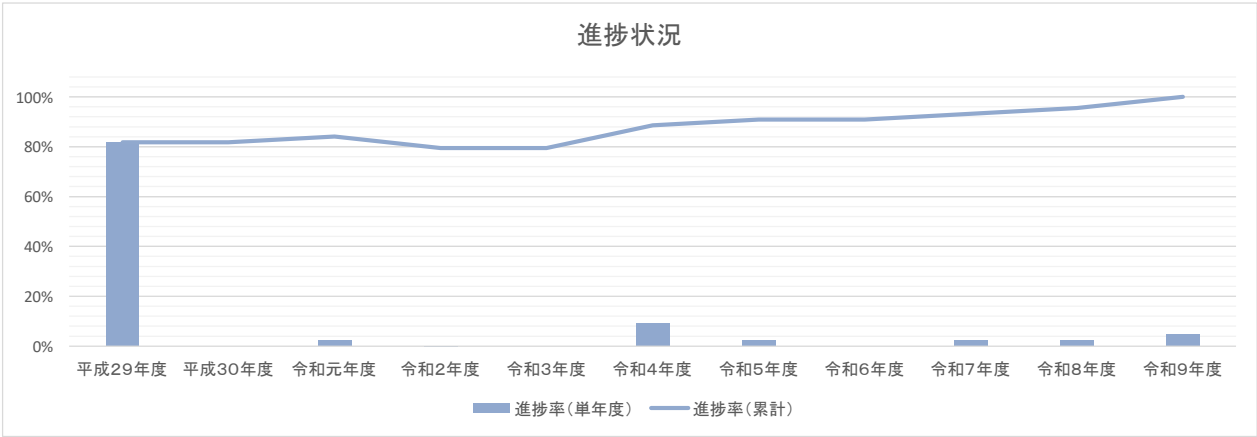
	合計	一般財源等	基金充当額	備 考
需用費（その他）	587,510		587,510	ロゴ入りタオル、瀬戸内海援隊ビブスなど
役務費	196,500		196,500	損害保険契約
合計	784,010	0	784,010	(単位：円)

年度（単位：千円）	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費（単年度）	1,273	359	456	679	620	530	641	785	892	892	892
事業費（累計）	1,273	1,632	2,088	2,767	3,387	3,917	4,558	5,343	6,235	7,127	8,019

6. 進捗状況等

年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率（単年度）	82%	0%	2%	-5%	0%	9%	2%	0%	2%	2%	5%
進捗率（累計）	82%	82%	84%	80%	80%	89%	91%	91%	93%	95%	100%
せとうち海援隊の年度別認定数（団体）	36	36	37	35	35	39	40	40	41	42	44

(見込) (見込) (見込)



令和6年度 事業報告書

事業名	傷病鳥保護普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成30年度
担当部署	広島県環境県民局自然環境課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

野生鳥類との共存に対する県民の意識を高めるため、児童をはじめ広く県民の鳥獣保護意識の醸成を図る。
成果目標 コンクール応募点数 400点/年（令和9年度）

2. 概要

- 鳥獣保護意識醸成のため、昭和22年～毎年5月に実施されている愛鳥週間の普及啓発を行う。
- ① ポスターの作成過程を通じて野生鳥類についての保護思想を高めるため、原画作品を募集する。
 - ② 県審査で入選作品を県内各地で展示し、愛鳥週間の普及啓発を実施する。
 - ③ 県審査で優秀作品9作品（特選3・特別6）を全国コンクールに応募する。

3. 根拠法令等

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、広島県野生生物の種の保護に関する条例

4. 事業内容等

- ・ポスターの作成過程を通じて野生鳥類についての保護思想を高めるため、「全国愛鳥週間用ポスター原画作品」を募集し、優秀作品を全国コンクールに応募する。
※ R6応募数：157作品（32校）
- ・巡回展示は各管理者の自主催事と組み合わせて、県民の正しい鳥獣保護意識を高められるように工夫する。
例としては、ポスター展示の期間に「探鳥会」等を開催している。
※ 5月から10月にかけて県内6カ所で入選作品の巡回展示を実施する。

令和 6 年度 事業報告書

事業名	傷病鳥保護普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成30年度
担当部署	広島県環境県民局自然環境課	終了年度	令和 9 年度

5. 事業費等

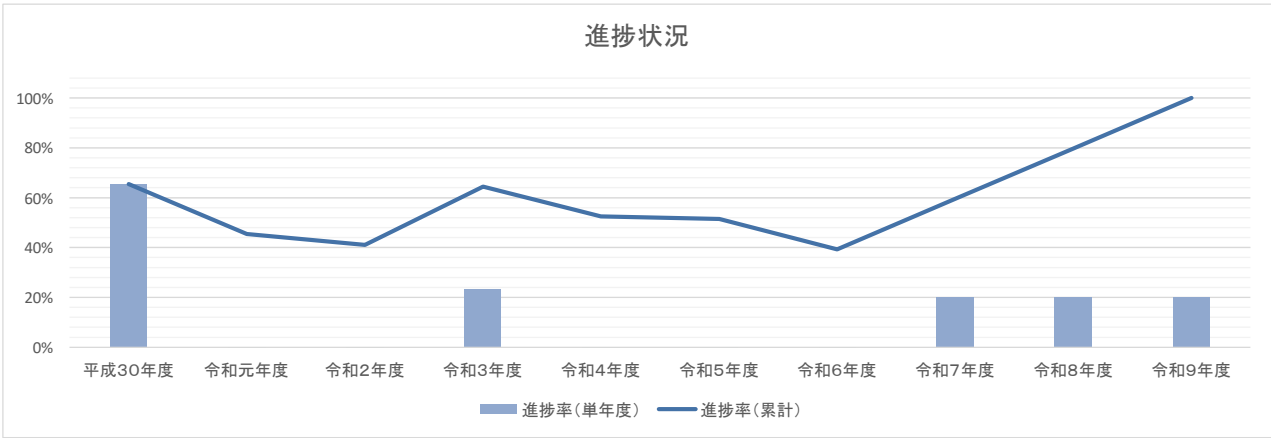
	合計	一般財源等	基金充当額	備 考
報償費	42,200		42,200	愛鳥週間ポスター作品審査会
旅費	4,150		4,150	愛鳥週間ポスター作品審査会
役務費	12,747		12,747	愛鳥週間 特選賞状筆耕料
合計	59,097	0	59,097	(単位：円)

年度 (単位:千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)	23	23	19	25	25	27	60	72	72	72
事業費 (累計)	23	46	65	90	115	142	202	274	346	418

6. 進捗状況等

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)	66%	-20%	-5%	24%	-12%	-1%	-12%	20%	20%	20%
進捗率 (累計)	66%	46%	41%	65%	53%	52%	39%	60%	80%	100%
コンクール年度別応募点数 (点)	262	182	164	258	210	206	157	238	319	400

(見込) (見込) (見込)



令和6年度 事業報告書

事業名	希少動植物種生息地調査・保全事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成30年度
担当部署	広島県環境県民局自然環境課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

県民が生物多様性の恵沢を将来に渡って享受するため、科学的情報に基づいて生物多様性を適切に保全し、県民の自然環境（生態系）の重要性に対する理解を促進する。

成果目標 自然観察会 参加人数 3,500名/年（令和9年度）

2. 概要

県民が自然環境（生態系）の保全の重要性に対する理解を深め、保全意識の高揚を図るため、県民に対し生きものの情報を分かりやすく提供し、自然環境（生態系）の保全の重要性を普及・啓発する。

このため、必要な調査や情報の蓄積を行い、ホームページや県広報誌等を通じて広く生きものの現状を県民に発信し、自然環境（生態系）の重要性を県民に訴求する。

併せて、次世代を担う子供達に自然環境（生態系）の保全を理解してもらうため、自然観察会を実施する。

3. 根拠法令等

広島県環境基本条例⇒第4次広島県環境基本計画

生物多様性基本法⇒未来へつなげ命の環！広島プラン～生物多様性広島戦略～（計画）

広島県野生生物の種の保護に関する条例

4. 事業内容等

①希少動植物種の調査及び普及啓発

- ・県民に対し生きものの情報を提供するための必要な調査及び自然環境保全の普及・啓発にかかる自然観察会等の開催委託事業の中では、市民（県民）モニタリングの機運上昇を目標としている。県民自らが生きものの情報収集の立役者となることにより、生物多様性保全の推進を目指す。このため、事業には、専門家を講師として招き、同定を前提とした生物写真の取り方・環境省生きものログを利用するための講習会型の観察会を複数年2回程度開催する。

＜実績＞R6：235名

②ヒョウモンモドキ保全地域協議会及び芦田川水系スイゲンゼニタナゴ保全連絡協議会への負担金

- ・安定的な生息環境を保持するための保全対策及び普及・啓発（観察会及び普及啓発グッズ配付）
- ・両協議会は、地元行政と地元住民による自然保護団体が連携して種の保護に当たることができるよう設立された。負担金はこれらの保全活動に必要な経費に当てられている。

令和6年度 事業報告書

事業名	希少動植物種生息地調査・保全事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成30年度
担当部署	広島県環境県民局自然環境課	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
旅費	0		0	保全連絡調整会議、協議会
委託費	5,940,000		5,940,000	調査・普及啓発業務
負担金	400,000		400,000	協議会への負担金
合計	6,340,000	0	6,340,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)	3,524	4,940	6,190	6,180	5,585	5,910	6,340	7,744	7,744	7,744
事業費 (累計)	3,524	8,464	14,654	20,834	26,419	32,329	38,669	46,413	54,157	61,901

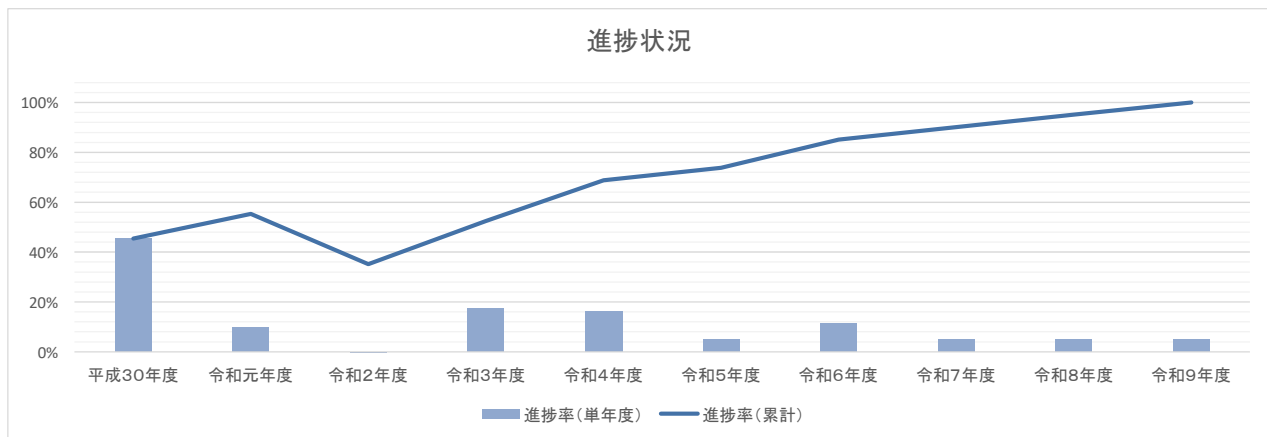
6. 進捗状況等

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)	45%	10%	-20%	17%	16%	5%	11%	5%	5%	5%
進捗率 (累計)	45%	55%	35%	53%	69%	74%	85%	90%	95%	100%
自然観察会の年度別参加人数 (人)	1,588	1,938	1,230	1,839	2,408	2,584	2,982	3,155	3,327	3,500

(見込)

(見込)

(見込)



令和6年度 事業報告書

事業名	食品ロス削減推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	令和6年度
担当部署	広島県環境県民局循環型社会課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

食品ロス削減に効果的に取り組むためには、県民一人ひとりが食品ロスの意義を認識し、この問題を「他人事」ではなく「我が事」として捉え、「理解」するだけにとどまらず「行動」に移すことが必要である。そのため、食品ロス削減の取組を県民運動として取り組むことで食品ロス削減を目指す。

【目標】

食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合：80%以上（令和9年度）

2. 概要

県民が、それぞれの立場で食品ロスの削減に自発的に取り組むよう、その重要性についての理解と関心の増進等のための教育や普及啓発の施策を、食育に関する取組と連携しながら推進する。また、生産、製造、販売等の各段階において発生している食品ロスの削減のための積極的な取組を推進する。

3. 根拠法令等

食品ロスの削減の推進に関する法律

4. 事業内容等

食品ロス普及啓発（7,998千円）

県民に食品ロスに関する普及啓発を行い、食品ロス問題の認知度向上を狙う。また、事業者と連携し、県民が食品ロス削減の取り組みやすい環境を整備し、食品ロスへの理解と関心の向上につなげる。

◎消費者への広報

○製造業・卸売業・小売業・外食業の食品ロス削減に資する取組

小売業と連携したキャンペーンを実施することで、消費者に小売業の食品ロス削減の取組を促す
消費者が飲食店で食べ残した際に持ち帰りができる環境を整備するために外食業と連携して消費者に啓発する
事業者が行っている食品ロス削減の取組の事例集を作成し、消費者に周知する

○消費者が家庭・お店でできる食品ロス削減の取組

手前どりや食べきり・持ち帰り、食品寄付などの取組促進

令和6年度 事業報告書

事業名	食品ロス削減推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	令和6年度
担当部署	広島県環境県民局循環型社会課	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	7,997,999	255,200	7,742,799	消費者への広報
合計	7,997,999	255,200	7,742,799	(単位：円)

年度(単位:千円)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)	7,743	7,993	7,993	7,993
事業費(累計)	7,743	15,736	23,729	31,722

6. 進捗状況等

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)	66%	11%	11%	11%
進捗率(累計)	66%	77%	89%	100%
食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合(%)	52.8	61.9	70.9	80.0

(見込) (見込) (見込)

